

11・12月行事予定

11/24-

後期中間考査

12/24~

冬季休業

高文連～全道大会～

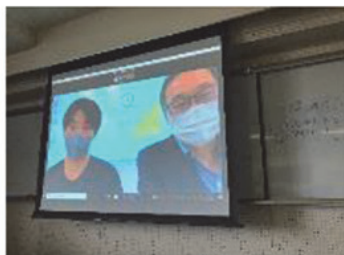
新型コロナウイルスの感染拡大もあり、今年度、高文連各専門部の大会は、これまでとは大きく異なる開催方法になりました。交流会や研修会など、大人数が一同に集まる機会は無くなり、各校ごとによる鑑賞やオンラインでの大会、無観客による音楽発表会など、これまでの大会の雰囲気とは別物になった部門もありました。しかし、昨年度、開催できなかった部門もあったことを考えれば、大会に参加できることの喜びを感じ、その場所で得られたものが多くあったことは言うまでもありません。

吹奏楽部は10月7日(木)に岩見沢市で行われた第55回全道高等学校音楽発表会に、美術部は10月12日(火)に札幌市で行われた第55回全道高等学校美術展・研究大会に出場・出展しました。両部とも全道規模の大会に参加し、肌で感じたこの体感が貴重な経験となりました。



大学訪問

本校1学年では自身の進路選択の視野を広げるために「大学訪問」を総合的な探究の時間で行なっています。計画当初は実際に大学を訪れ、その空気を肌で感じる学校訪問を計画していましたが、感染予防を第一に考え、10月14日(木)、大学からの出張講義とオンライン講義を交えた形で開催しました。協力いただいた大学は北海道情報大学、山形大学、北翔大学、小樽商科大学の4大学で、「大学とはどのような場所なのか」、「学びを得るために必要なことは」、「1年生から考えられる進路」など、様々なテーマで説明・講義・ピアサポート・ゼミ訪問と、バラエティーに富んだ内容で、学校にいながら様々な体験をすることができました。それぞれの進路選択の幅が広がる有意義な時間になりました。





マラソン大会

『一人ひとりが主役になれる学校』

前期最終日であった9月29日(水)、感染対策を取りながら、第51回校内マラソン大会を実施しました。当日は秋晴れの空のもと、男子10km、女子8kmのコースを、全校生徒がひたむきにゴールを目指しました。一人ひとりがゴールを目指す姿は、清々しく感動的で、先には必ずゴールがあることを感じながら、友人と共に汗を流しました。

給水地点・ゴール地点ではPTAの皆さんにご協力いただきました。多数の参加ありがとうございました。少しずつではありますが、これまでの学校生活が戻ってきている一面も見られました。富川高校では今後も感染予防に努めながら、教育活動を充実させていきます。



令和3年度進路活動について

進路生活部より

今年も新型コロナウイルスが進路活動に影響を与えています。進学志望者の動向としては、地元志向が強く、語学・国際系は不人気であり、医療系の倍率は上がる予想となっています。昨年度から大学入試共通テストが始まり、総合型選抜などでは選抜方法が多様化し、単純な学力だけではなく、思考力や表現力、課題解決能力などが問われる傾向が顕著になっております。就職の傾向としては、求人数自体は大きく減少していないものの、募集人数が例年より減っている業種が目につきます。女子生徒に人気のある接客・サービス業や事務職などでは、早い段階で求人が充足し、取り下げられているものも多くあります。一方、増加の傾向にあるのが、土木・建築などです。高卒求人以外では、資格の必要な運送業や介護サービス業では人手不足が続いているようです。上級学校や企業の方が募集活動の一環で、毎日のように本校を訪れます。お話しに共通しているのは「挨拶ができ、周りとのコミュニケーションを取りながら自分で考え、行動できる人」が求められているということです。どんな社会でも自分の力を発揮できるよう人間的に大きく成長して欲しいと思います。